

フラガール (2006)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 120分

初公開日 2006/09/23

公開情報 シネカノン

【キャッチコピー】

未来をあきらめない

北国を常夏の楽園へ。40年の時を越え語られる奇蹟の実話。

【解説】

炭坑の閉山で活気を失った町の再生を期して計画されたレジャー施設“常磐ハワイアンセンター”（現・スパリゾートハワイアンズ）誕生にまつわる感動秘話を映画化したハートフル・ストーリー。施設の目玉となるフラダンスを教えるため東京から呼び寄せられたダンス教師と地元の炭坑娘たちとの葛藤と心の成長を描く。主演は「子ぎつねヘレン」の松雪泰子、共演に蒼井優、山崎静代。監督は「69 sixty nine」の李相日。3ヵ月の猛特訓を積んだという出演者たち自らが披露する迫真のフラダンス・シーンも見どころ。

昭和40年、福島県いわき市の炭鉱町。時代は石炭から石油へと変わり、閉山が相次ぎ、町は先細りの一途をたどっていた。そこで、起死回生のプロジェクトとして豊富な温泉を利用したレジャー施設“常磐ハワイアンセンター”が計画された。そして、目玉となるフラダンスショーのダンサー募集が地元の少女たちに対して行われた。この町から抜け出すチャンスだと考えた早苗は紀美子を誘って説明会へと向かう。説明会では、セクシーな衣装で踊る姿に、大半の応募者が逃げ出し、残ったのは紀美子と早苗の他には初子と小百合のわずか4人だけだった。そんな中、元SKD（松竹歌劇団）のダンサー平山まどかがフラダンスの教師として東京から招かれる。しかし、とある事情で渋々やって来たまどかは、教える相手がズブの素人と分かり、完全にやる気を失ってしまう…。

【クレジット】

監督 李相日

製作 李鳳宇

河合洋

細野義朗

企画 石原仁美

プロデューサー 石原仁美

脚本 李相日

羽原大介

撮影 山本英夫

美術 種田陽平

編集 今井剛

音楽 ジェイク・シマブクロ Jake Shimabukuro

照明 小野晃

録音 白取貢

出演 松雪泰子

平山まどか

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています。

データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。

Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

| | | |
|------|------------------|-------|
| 豊川悦司 | Etsushi Toyokawa | 谷川洋二郎 |
| 蒼井優 | | 谷川紀美子 |
| 山崎静代 | | 熊野小百合 |
| 池津祥子 | | |
| 徳永えり | | |
| 三宅弘城 | | |
| 寺島進 | | |
| 志賀勝 | | |
| 大河内浩 | | |
| 菅原大吉 | | |
| 山田明郷 | | |
| 高橋克実 | | |
| 岸部一徳 | | 吉本紀夫 |
| 富司純子 | | 谷川千代 |